

事業番号	09 03 02	事業改善シート（令和8年度実施事業分）	■ 当初要求	□ 当初予算案	□ 表正予算案	□ 点検
事業名	環境にやさしい農業推進事業	部局	農政部	課・室	農業技術課	

## 1 現状と課題

- ・県ゼロカーボン戦略の達成に向け、農業分野においても、環境負荷を低減した環境にやさしい持続可能な農業へ転換していく必要がある。県内での取組面積はやや増加傾向にあるが、更に取組を拡大する必要があることから、生産現場において容易に実践可能かつ安定生産につながる環境にやさしい栽培技術の実証・普及等が必要。
  - ・食のグローバル化が進む中、国際水準GAP※に対する実需者ニーズが一層高まっていることから、国際水準に引き上げた長野県GAP基準に基づく既存のGAPからのステップアップや認証取得に向けた支援が必要。
  - ・気候変動等の影響による新たな病害虫や防除困難な病害虫が発生しており、生産現場への影響が深刻化していることから、対策が必要。

※GAP(Good Agricultural Practices : 農業生産工程管理)

「食品安全」「環境保全」「労働安全」から定められる点検項目に沿って、農産物を作る際に適正な手順を守り、モノの管理を行い、持続可能性を確保する取組。国際水準の取組では、点検項目に「農場経営管理」「人権保護」の視点が加わる。

## 2 事業目的

温室効果ガス削減につながる技術や、化学肥料に代わる有機質肥料の生産・利用を普及・拡大とともに、有機農業などの環境にやさしい農業の地域ぐるみでの展開を推進するなど、農業生産活動に由来する環境負荷の低減を進めることで、ゼロカーボンや持続可能な農業の実現を図る。

消費者や実需者から信頼され、求められる産地を目指し、安全安心な農産物生産の基になるGAPの取組や農薬の安全使用を図るとともに、農産物の生産に大きな被害を及ぼす新たな病害中の侵入防止や防除困難な病害中のまん延防止を図る。

### 3 事業目的を達成するための取組

### ① ザイカーボンに資する取組や有機農業など環境にやさしい農業の推進

- ・温室効果ガス削減技術・炭素貯留の普及推進を図るため、水田中干し延長技術等の現地実証場を設置し、生産への影響等を検証とともに、Jクレジット制度の活用に向けた検討を進める
  - ・地域の未利用有機質資源の有効活用を進め、化学肥料の低減を図るため、地元産たい肥を活用したペレット堆肥等の利用拡大・増産に向けた支援や、下水汚泥資源の肥料利用に向けた検討を実施
  - ・地域資源（果樹せん定枝などバイオマス）を活用にするための施設整備やせん定枝の炭化専用機器の導入を支援
  - ・有機農業の面的拡大を図るため、市町村等が地域ぐるみで取り組む有機農業産地づくり（オーガニック・ビレッジの創出）や有機農業プラットフォーム会員の独自活動等を支援
  - ・【拡】有機農業志向者の栽培技術向上を図るため、オーガニックアカデミーでは基礎講座に加え、品目別講座を開設
  - ・地域の農業者が実施可能な環境にやさしい栽培体系等を組み立てるため、現地での技術実証を実施
  - ・令和4年度に採択された「四県サミット共同宣言※」に基づき、果樹せん定枝等、



【写真：炭化専用機器 實演会】

※「四県サミット共同宣言」：第7回中央日本四県（静岡・長野・新潟・山梨）サミット（R4.9.14）にて、観光・環境等の推進を、4県の知事が共同で発表

## ②GAPの推進

- ・農業者等の国際水準GAP（GLOBALG.A.P., ASIAGAP、JGAP）認証取得のためのコンサルタントの導入や認証審査を支援
  - ・農業者等の認証取得や国際水準への取組のステップアップを支援するため、国際水準GAPに対応可能な職員を育成
  - ・農業者に国際水準化した長野県GAP基準に基づく周知と実施を支援するための研修会を開催

### ③重要病害中のまん延防止

- ・発生予察調査により侵入警戒を行うとともに、テンサイシストヤンコウの防除及びほん延防止を徹底

4 成果指標

No.	指標名	単位	R5年度			R6年度		R7年度		R8年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	見込	推移					
①	持続可能な農業に取り組む面積 (化学合成農薬・肥料を削減した栽培、有機農業)	ha	2,531	2,654	↗	2,612	↘		3,494	/	第4期長野県食と農業・農村振興計画において、5年後に取組面積をR3年度の1.5倍(3,700ha)を目指すことが長期目標であるため、R8年度はR3年度（基準年）の約1.4倍の3,494haを目標として設定	
②	国際水準GAP指導農業者数	経営体	263	251	↘	128	↘		130	/	国際水準GAPの実践・定着を図るため、現地機関において重点指導対象者を選定し、個別指導130経営体を目標として設定	
③	指標なし									/		

## 5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

6 事業コスト

(单位：千円、人)

事業番号	09 03 02	細事業一覧（令和8年度実施事業分）	■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検
事業名	環境にやさしい農業推進事業	部局	農政部 課・室 農業技術課

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
1	環境にやさしい持続可能な農業定着・促進事業	174,906 千円	117,182 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 131,246 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	有機農業推進事業	直接 補助金	・国のみどり交付金を活用し、市町村等が主体となった地域ぐるみでの有機農業産地づくりを推進 ・【拡】有機農業志向者の栽培技術向上を図るため、オーガニックアカデミーに基礎講座に加え、品目別講座を開設 オーガニックピッレッジの創出 延べ8市町村	
2	ゼロカーボン推進事業	直接 補助金	・環境にやさしい持続可能な農業を推進するため、「信州の環境にやさしい農産物認証制度」の新規取得やステップアップを目指す農業者・団体等の取組を支援 ・環境にやさしい農業技術の普及を図るため、現地実証は場を設置し、現地検討会を開催 環境にやさしい農業推進研修会の開催 1回、実証はの設置 5か所	
3	G A Pの推進	直接 補助金	・国際水準GAPの認知度向上とステップアップを図るため、研修会を開催 ・国際水準GAP認証取得支援 ・国際水準GAPに対応可能な職員を育成するための研修の受講 認証取得支援 4件、職員の育成10人	

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
2	環境保全型農業直接支払事業	46,134 千円	50,426 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 52,577 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	環境保全型農業直接支払事業	交付金	化学肥料、化学合成農薬の使用を50%削減したうえで、地球温暖化防止、生物多様性保全の取組を行う農業者を支援 農業者団体等への交付額 53,296千円	

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
3	植物防疫事業	394,245 千円	930,551 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 452,580 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	発生予察事業	直接	・病害虫防除所等による病害虫発生予察は場の設置及び調査の実施 ・日本植物防疫協会が提供する農薬登録情報等の検索システムへの加入 予察巡回調査は場設置ヶ所数 215か所、予察情報の発表回数 14回	
2	病害虫防除所運営費	直接	病害虫防除所の設置及び運営 病害虫防除所（本所及び中南信担当）の設置及び業務の推進	
3	重要病害虫まん延防止対策事業	直接	国が指定する重要病害虫（テンサイシストセンチュウ）の防除及びまん延防止対策の実施 テンサイシストセンチュウ緊急防除実施は場 160か所	

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
4	農薬安全使用対策事業	1,613 千円	1,567 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 1,567 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	農薬安全使用対策事業	直接	・農薬の適正使用の推進 ・地域特産作物等、マイナー品目の農薬登録拡大のための試験等の実施 ・環境モニタリング調査の実施 地域特産作物の農薬登録適用拡大試験実施件数 5件	